



2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月4日（水）

株式会社スカパーJSATホールディングス

証券コード：9412

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《全般に関するリスク》

- ・ 事業投資等に関するリスク
- ・ 事業上の法的規制に関するリスク
- ・ 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- ・ 大規模災害等による事業継続に関するリスク

《メディア事業に関するリスク》

- ・ 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- ・ 不正視聴に関するリスク
- ・ 顧客管理システムに関するリスク

《宇宙事業に関するリスク》

- ・ 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- ・ 通信衛星調達に関するリスク
- ・ 通信衛星の運用に関するリスク

2021年3月期 第2四半期連結決算概要

連結損益概要

- メディア事業において視聴料収入等が減少した一方で、宇宙事業ではJCSAT-17及びHorizons 3eの収益が順調に拡大したこと、メディア事業において費用が抑制されたこと等により、連結で増収増益
- 通期業績予想を修正（詳細はP8-P9）

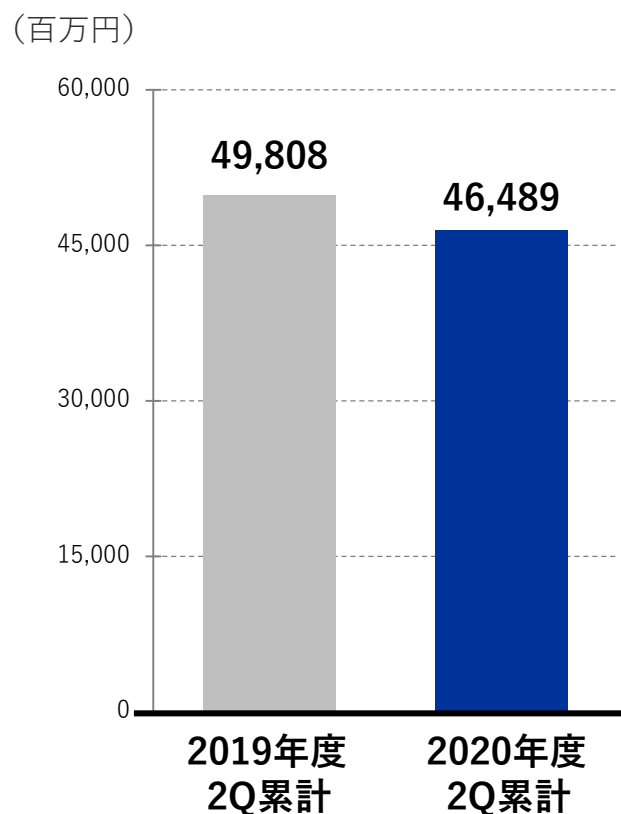
（百万円）

	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	増減率	2020年度通期 前回発表予想	2020年度通期 今回修正予想	今回修正予想に 対する進捗率
営業収益	69,271	69,773	0.7%	140,000	139,000	50.2%
営業利益	8,331	11,116	33.4%	12,000	16,000	69.5%
経常利益	8,808	11,821	34.2%	12,500	16,500	71.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,943	7,865	32.3%	8,000	11,000	71.5%
EBITDA *	22,279	24,463	9.8%	38,000	42,200	58.0%

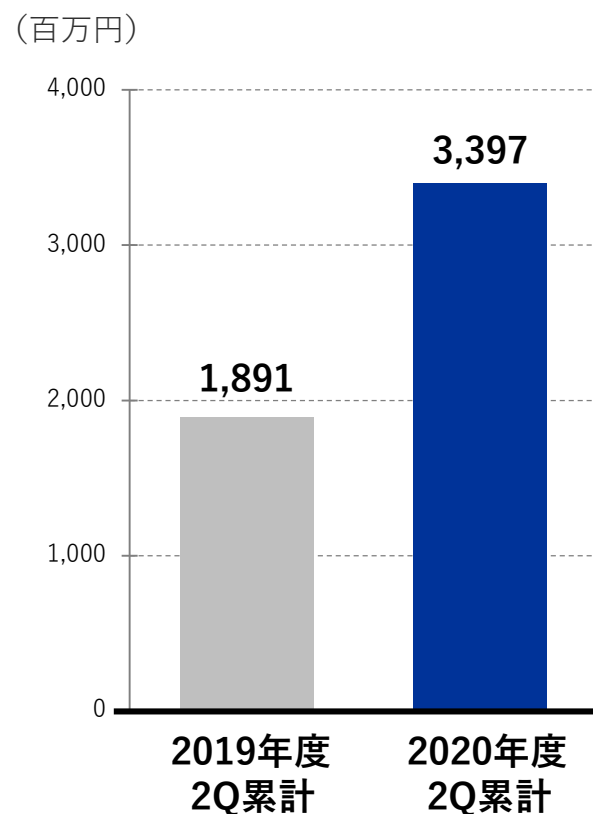
* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- セグメント利益（四半期純利益）は34億円（前年同期比+15.1億円）
- 視聴料収入は減少したが、それに伴う番組供給料の減少、自主チャンネルの編成見直しに伴うコンテンツ費用の減少、減価償却費の減少等によりセグメント利益は増加

営業収益



セグメント利益



セグメント利益増減要因

■ 営業収益（△33.2億円）*

- ・ 視聴料収入の減少：△21億円
- ・ 基本料収入の減少：△4億円
- ・ 業務手数料収入の減少：△4億円

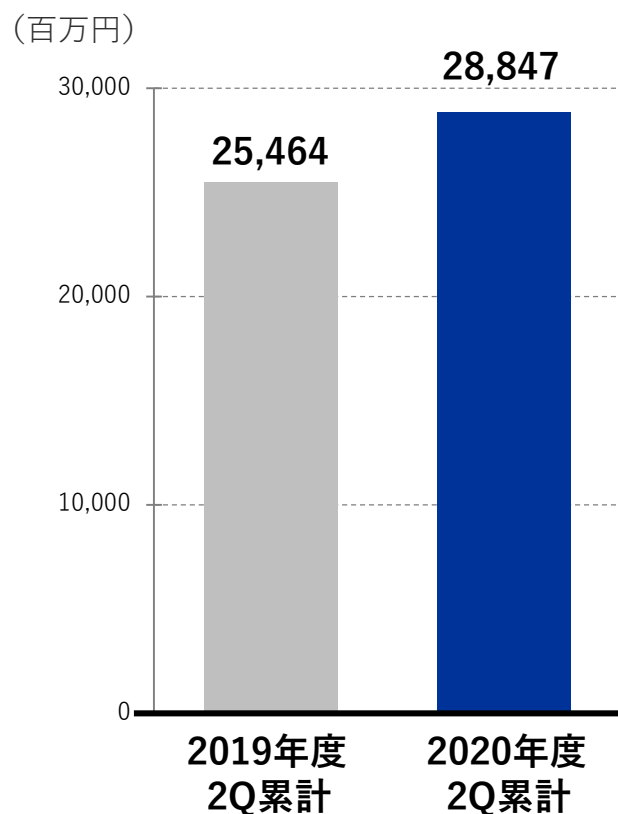
■ 営業費用（△54.3億円）*

- ・ 番組供給料の減少：△11億円
- ・ コンテンツ費用の減少：△11億円
- ・ 減価償却費の減少：△11億円
- ・ 販促関連費用の減少：△5億円
- ・ 衛星回線料等の減少：△5億円

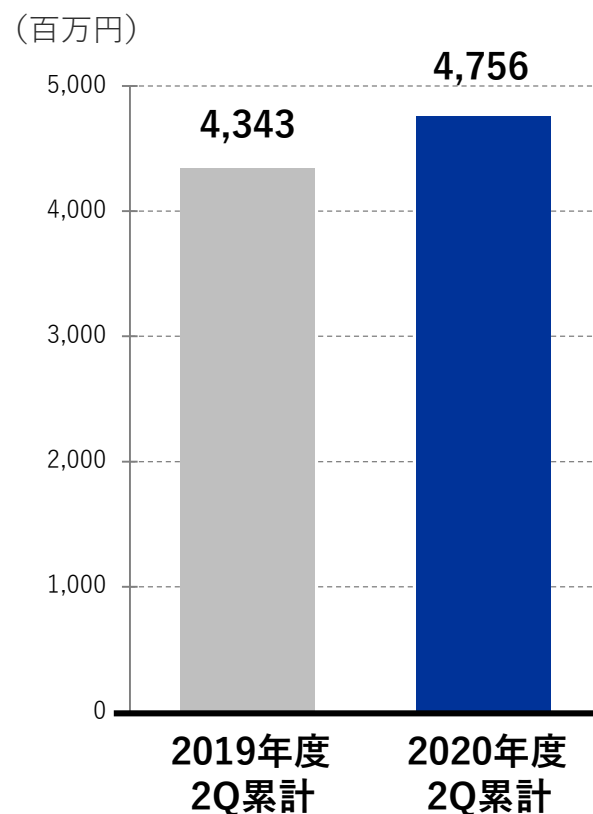
* セグメント間内部取引を含む

- セグメント利益（四半期純利益）は48億円（前年同期比＋4.1億円）
- 新型コロナウイルスの影響により、航空機内インターネット接続用衛星回線の収益が減少した一方で、JCSAT-17及びHorizons 3eの収益が増加したこと等によりセグメント利益は増加

営業収益



セグメント利益



セグメント利益増減要因

- 営業収益（＋33.8億円）＊
 - ・ J-17及びH3e衛星の収益の増加：＋37億円
 - ・ 航空機内インターネット接続用衛星回線収益の減少：△6億円
- 営業費用（＋27.2億円）＊
 - ・ 減価償却費の増加：＋8億円
 - ・ 衛星事業原価等の増加：＋20億円

＊ セグメント間内部取引を含む

2021年3月期 通期業績予想修正

2020年度通期業績予想修正

(百万円)

	2019年度 通期実績	2020年度通期 前回発表予想	2020年度通期 今回修正予想	増減額
営業収益	139,541	140,000	139,000	△1,000
営業利益	15,263	12,000	16,000	+ 4,000
経常利益	16,088	12,500	16,500	+ 4,000
親会社株主に 帰属する当期純利益	12,027	8,000	11,000	+ 3,000
EBITDA*	41,531	38,000	42,200	+ 4,200

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息
 * JCSAT-17はファイナンス・リース取引の対象であるため、リース債権に計上

2020年度 セグメント別業績予想修正

■ 新型コロナウイルスの影響を両事業において精査

【メディア事業】

大型イベントの中止等による営業収益の減少が発生する一方で、関連コストも減少。
加えて、事業全体のコスト構造見直し効果が出始めている。

【宇宙事業】

航空機Wi-Fi需要を中心に保守的に見込んでいた衛星回線利用に伴う収益が前回発表時から改善する見通し。
また、事業の運営コストの低減や一部の先行費用発生遅延等を反映。

(百万円)

	2020年度通期 前回発表予想				2020年度通期 今回修正予想			
	メディア事業	宇宙事業	消去又は全社	連結合計	メディア事業	宇宙事業	消去又は全社	連結合計
営業収益	93,900	57,300	△11,200	140,000	91,500 (△2,400)	58,000 (+700)	△10,500	139,000 (△1,000)
営業利益	2,300	10,300	△600	12,000	4,400 (+2,100)	12,400 (+2,100)	△800	16,000 (+4,000)
セグメント利益	1,800	6,800	△600	8,000	3,100 (+1,300)	8,500 (+1,700)	△600	11,000 (+3,000)

メディア事業

■ CATV事業者と放送設備を共用する初の協業事業モデルを実現。

設備・リソースの共有による事業の効率化と再送信サービスの加入者拡大を図る。

CATVとの協業により、
提供エリアの全国展開を加速

提供可能世帯数 : 31都道府県 3,200万世帯へ拡大
世帯カバー率 : 約60%



<協業概要>

- ・提供拡大エリア : 東北エリア 宮城県・山形県・岩手県（2020年11月以降順次展開）
- ・提供可能世帯数 : 100万世帯
- ・提携CATV局 : 宮城ケーブルテレビ（宮城）、ニューデジタルケーブル（宮城）、ダイバーシティメディア（山形）岩手ケーブルテレビジョン（岩手）
- ・事業モデル : ヘッドエンド設備と光回線をCATV局と当社で共用し、各々がサービスを提供



概要：

スカパー！を通じて多くの方にハマって（楽しんで）いただくコンテンツの祭典。加入者限定のオンラインイベント、オンライントークショー、プレミアムなプレゼント等独自の企画を多数用意。加えて、未加入者も参加可能なオリジナルコンテンツを配信。

企画意図：

コンテンツ起点での、きめ細やかな『ファンマーケティング』の一環として、多ジャンル・多チャンネルのコンテンツをもとに、それぞれのファンとの接点づくりを仕掛け、興味関心・ロイヤリティの向上を狙う。

実施時期：10月30日～12月31日

【企画内容抜粋】



福岡ソフトバンクホークス オンライン選手トークショー(仮)
(スポーツライブ+)



「メンバーと一緒に見るNMB48 9th Anniversary LIVE」(スペースシャワーTVプラス)



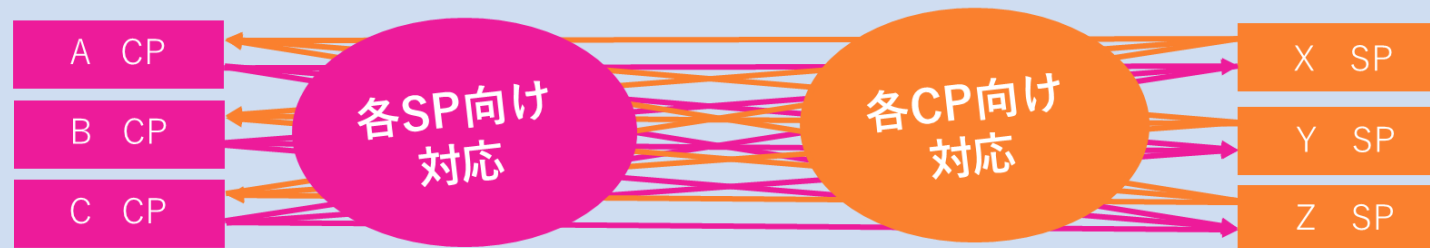
「SUPERGIRL / スーパーガール」シーズン5
放送記念 吹替声優・小松未可子スペシャルトークライブ (AXN 海外ドラマ)

国内外の配信サービスへの貢献

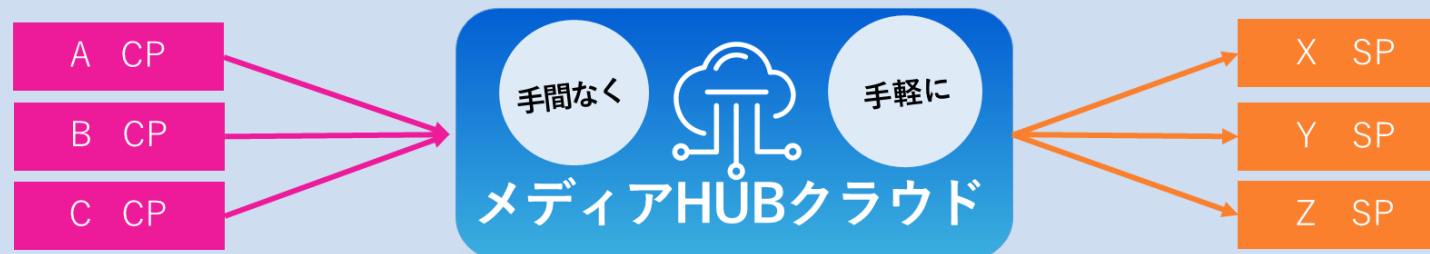
メディア向け動画配信ソリューション国内最大手のPLAY社と連携

スカパー東京メディアセンターを配信フィードの集積地、配信基地として発展させ、コンテンツプロバイダ（CP）、OTTサービス事業者（SP）双方にとって短期間かつ低コストで高い信頼性の配信手段の提供を目指す。

従来の課題



解決のアプローチ



- CPはまとめて複数のSPにコンテンツを展開可能
- SPは複数のコンテンツをまとめて利用可能
- 放送同時配信、ライブ、VOD、見逃しコンテンツの配信可能
- ご要望に応じて、コンテンツ制作からサイト/アプリまでを一気通貫で提供可能

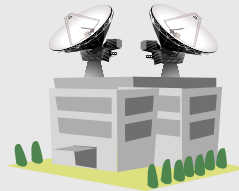
宇宙事業

■ 技術試験衛星9号機(ETS-9)に関する協定書を JAXA と締結

- ・ JAXA 公示の「技術試験衛星9 号機バスの定常運用及び相乗りペイロードの追加搭載等」について、ETS-9 の実証後期間の定常運用業務の委託、及び、相乗りペイロードによる衛星バスの利用に関する協定書をJAXAと締結。
- ・ 相乗りペイロードとして当社が搭載する光学望遠鏡は、スペースデブリ対策などに活用。

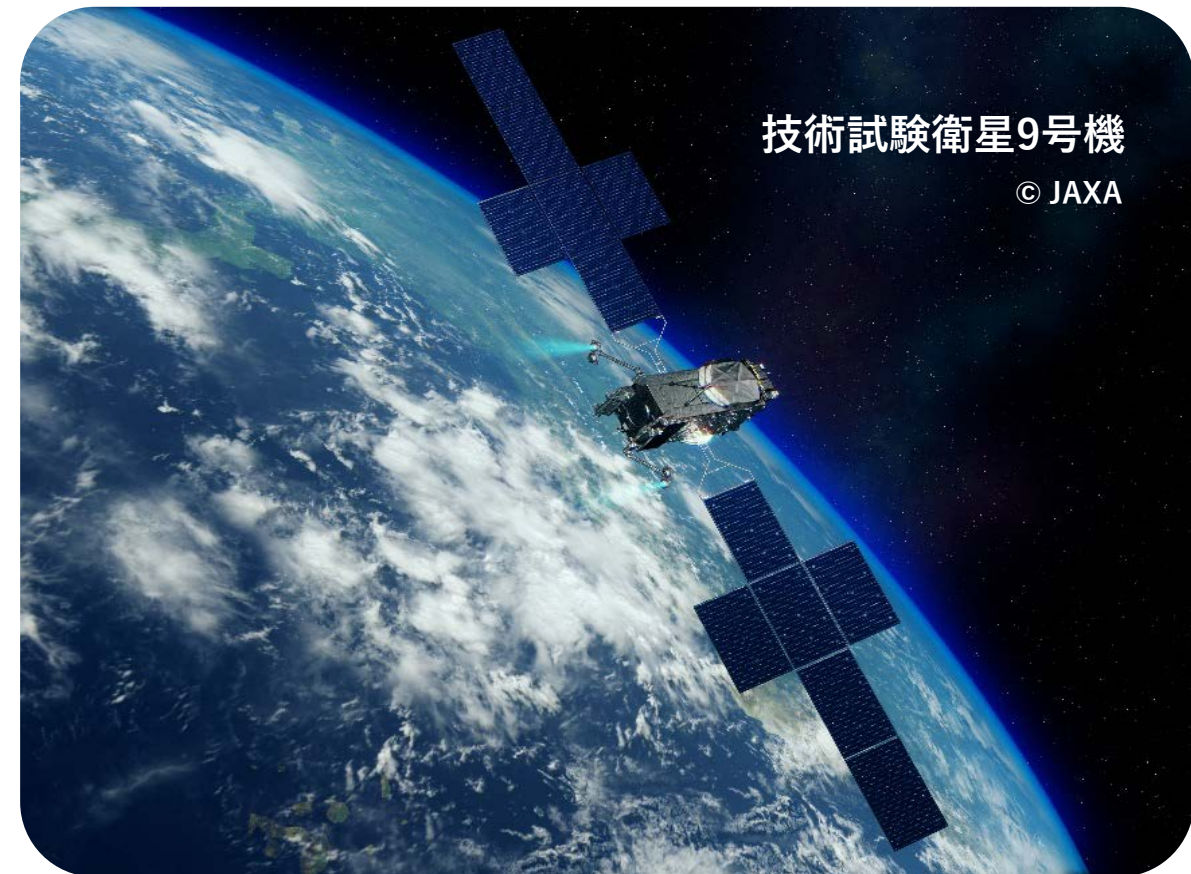
当社受注範囲①：ETS-9バスの運用

当社の横浜衛星管制センターから
ETS-9の運用を実施



当社受注範囲②：相乗りペイロードの追加搭載

スカパーJSATの光学望遠鏡を搭載し、静止軌道の状況を撮影



■ 『衛星防災情報サービス』提供に向け株式会社ゼンリン及び日本工営株式会社と業務提携

- 衛星事業・地図事業・建設コンサルタントの3業界の国内最大手事業者が協業。インフラ設備などの災害リスク予測・減災・早期復旧に活用することができる『衛星防災情報サービス』の開発に取り組む。

各社の役割



光学衛星、SAR衛星を活用した
画像撮影および解析技術の開発

ZENRIN

被害算出に必要な住宅地図データ、
建物ポリゴン、統計地図データなどを提供

スカパーJSATと日本工営は、
2019年11月から事業連携を開始

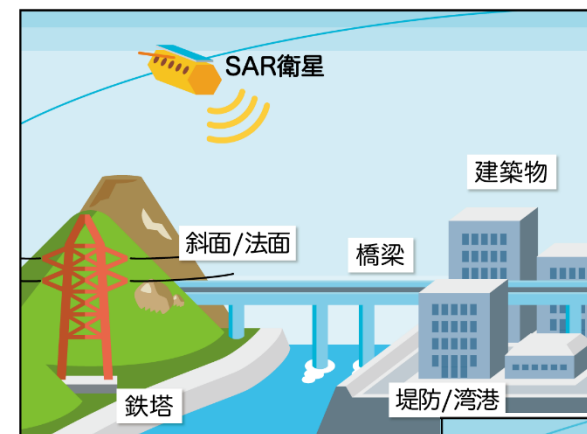
NIPPON KOEI

リスク評価技術の開発（アラート機能）、
予測技術の開発、表示コンテンツの開発

衛星データを解析した観測結果からリスク評価・予測、その情報を高頻度更新・高精度の地図に掲載。ユーザーの要望に応じた統計処理を実施

総合防災情報提供サービス

サービスイメージ

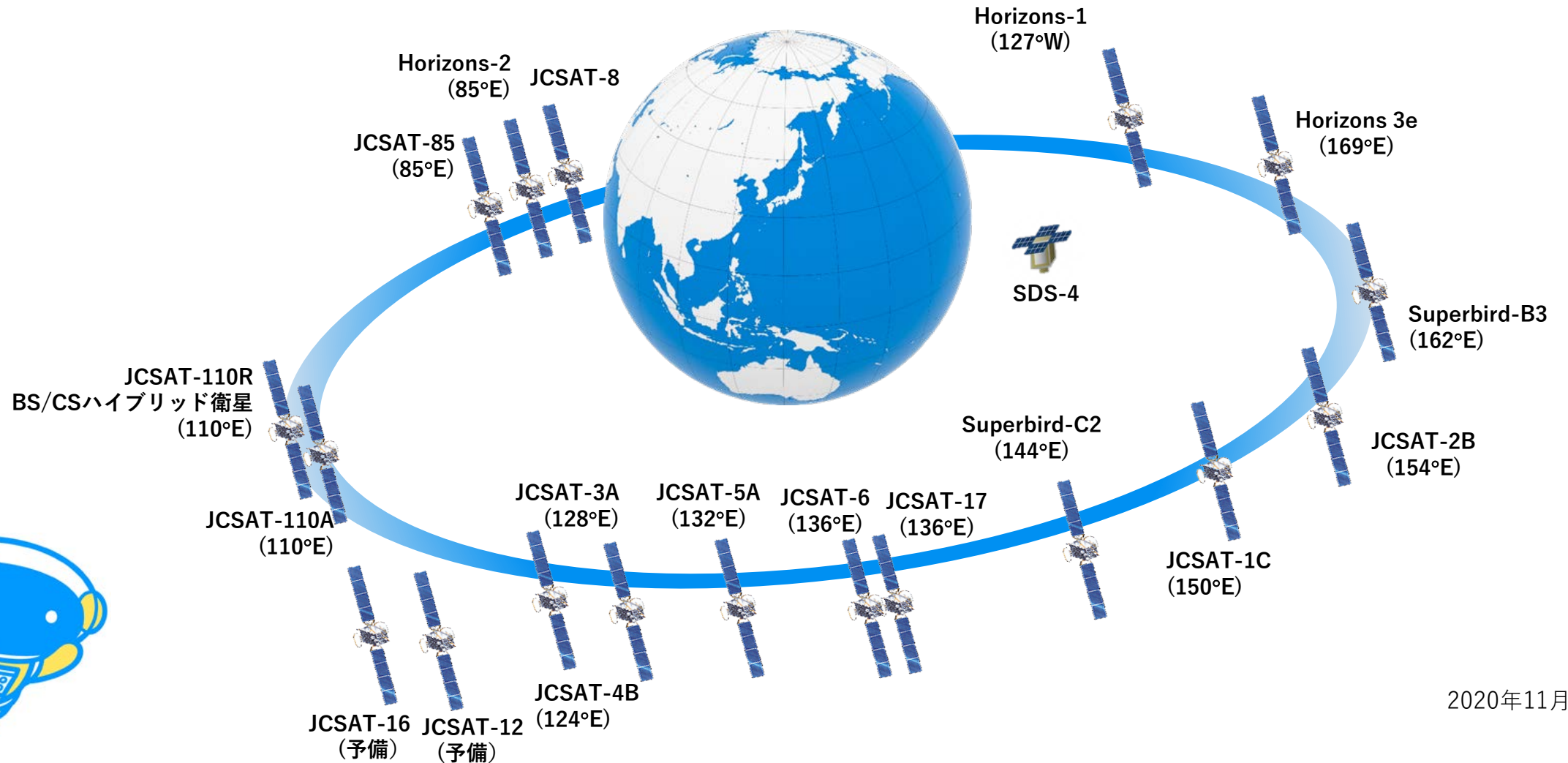


← 平時
…インフラモニタリング
モニタリングを行うことで
減災・防災につなげる

災害発生時 →
…被害状況把
救難・復旧活動の支援や
2次災害の防止につなげる



北米上空からインド洋上空まで 計19機 の衛星を保有



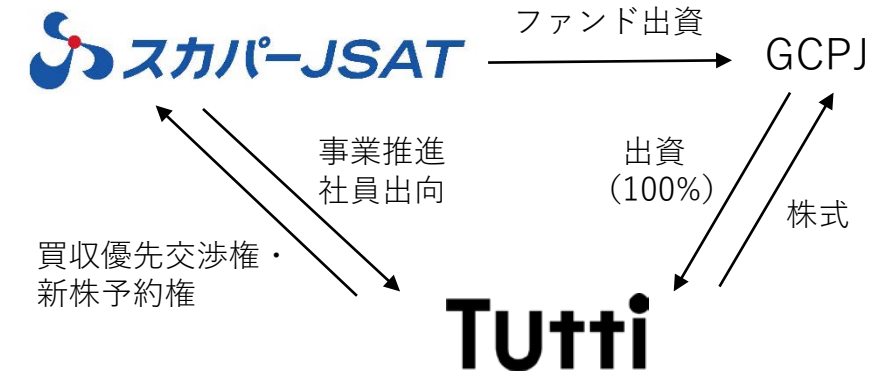
2020年11月

新たな取り組み

■ 「トゥッティ・ミュージック・エンターテインメント」

- スカパーJSATが出資するファンドがクラシック音楽専門動画配信サービスに特化した新会社を設立（2020年8月）
- ファンドが持つベンチャー育成、事業立ち上げノウハウ及びネットワーク等を活用し、新規事業を社外で推進する
当社グループ初の試み
- コロナ禍で中止された全日本学生吹奏楽コンクールに替わる吹奏楽フェスティバルを10月に開催
- 11月20日配信サービス開始予定 ※月額480円（税抜）

<概略図>



※GCPJ（Global Catalyst Partners Japan2号投資事業有限責任組合）
※Tutti（トゥッティ・ミュージック・エンターテインメント株式会社）



<未来につなごう！吹奏楽スーパーバンドフェスティバル2020（スカパーJSAT株式会社協賛）>

- 『未知を、価値に。』をブランドスローガンに掲げた企業ブランディング活動を開始
- 10月1日よりCM放送、公式YouTubeでも公開中。当社事業の理解促進のためブランドサイトも開設。
- 広く社会から当社事業への理解・共感を得て、企業価値を高めるために、今後も企業ブランディング活動を積極的に展開していく

<ブランドサイト>

<TVCMイメージ>



上スクロールすることで地上から宇宙までの当社事業を体感できるつくりになっている。



<グループサイト>



参考資料

	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	2020年度 加入目標
新規* (IC数：万件)	30.9	31.2	64.3
純増数 (IC数：万件)	△0.6	△1.5	△8.2
(スカパー !)	(4.0)	(2.9)	(1.5)
(スカパー !プレミアムサービス)	(△4.5)	(△4.2)	(△9.2)
(スカパー !プレミアムサービス光)	(△0.2)	(△0.2)	(△0.6)
累計加入件数 (IC数：万件)	324.1	315.5	308.8
累計契約者数 (契約者数：万件)	272.4	258.5	249.2
契約者月額支払単価 (円)			
スカパー !	3,273	3,294	—
スカパー !プレミアムサービス	3,679	3,617	
スカパー !プレミアムサービス光	5,256	5,198	

*2019年10月末より、従来「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し、「新規」として集計しております。
2019年度の「新規」は変更後の「新規」で記載しております

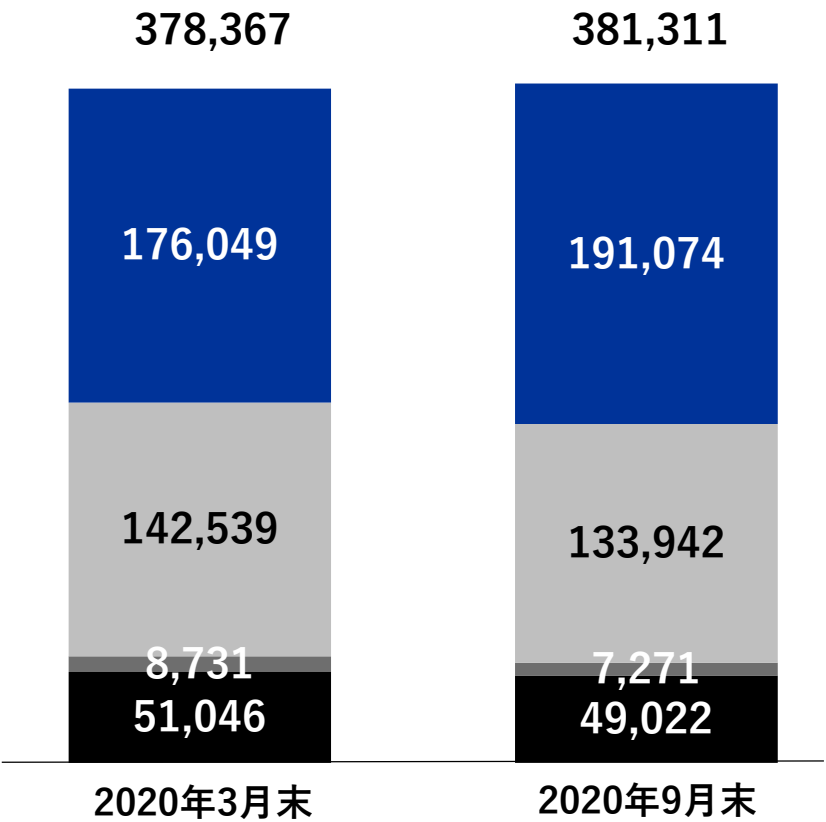
セグメント別：連結四半期業績推移

(百万円)

	2019年度					2020年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
営業収益	34,519	34,752	34,552	35,717	139,541	34,674	35,099
メディア事業	24,985	24,822	24,213	23,623	97,645	23,066	23,422
宇宙事業	12,570	12,893	13,180	14,889	53,533	14,381	14,465
消去又は全社	△3,037	△2,963	△2,842	△2,794	△11,637	△2,773	△2,789
営業利益	3,694	4,636	3,971	2,960	15,263	5,594	5,521
メディア事業	654	1,932	1,284	△795	3,076	2,174	2,525
宇宙事業	3,225	2,875	2,855	3,945	12,901	3,568	3,197
消去又は全社	△185	△171	△168	△189	△714	△148	△201
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	2,464	3,479	2,582	3,500	12,027	4,022	3,843
メディア事業	474	1,416	909	1,746	4,546	1,603	1,794
宇宙事業	2,146	2,197	1,800	1,884	8,029	2,529	2,226
消去又は全社	△156	△134	△128	△130	△549	△111	△178

資産

(百万円)

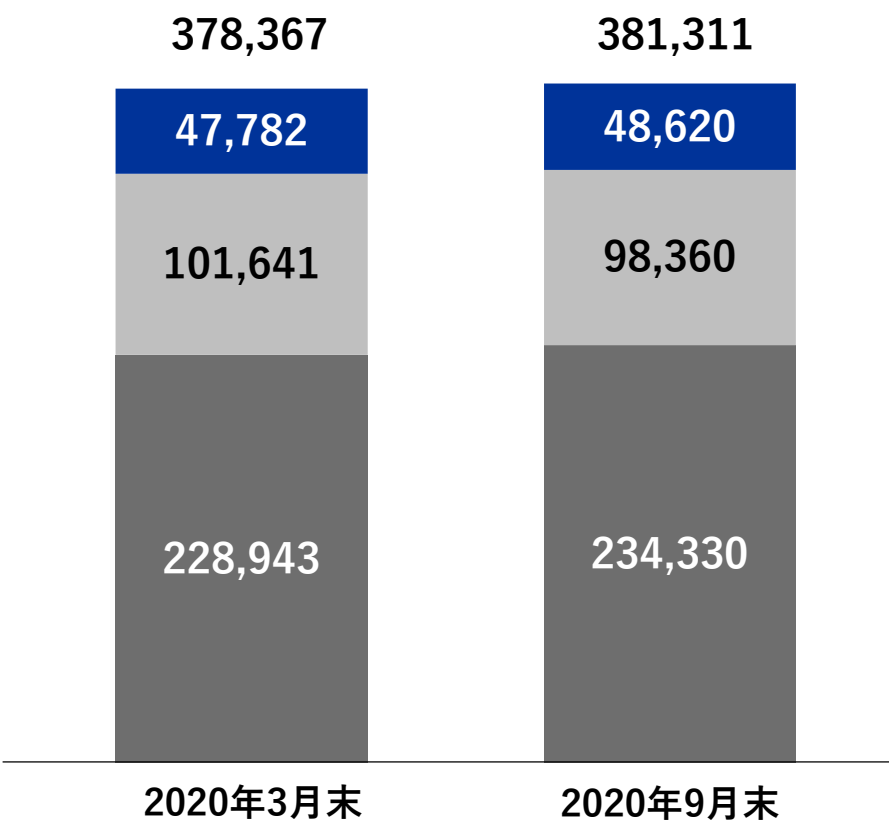


負債・純資産

自己資本比率： 60.3%

61.2%

(百万円)



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産

流動負債 固定負債 純資産

(百万円)

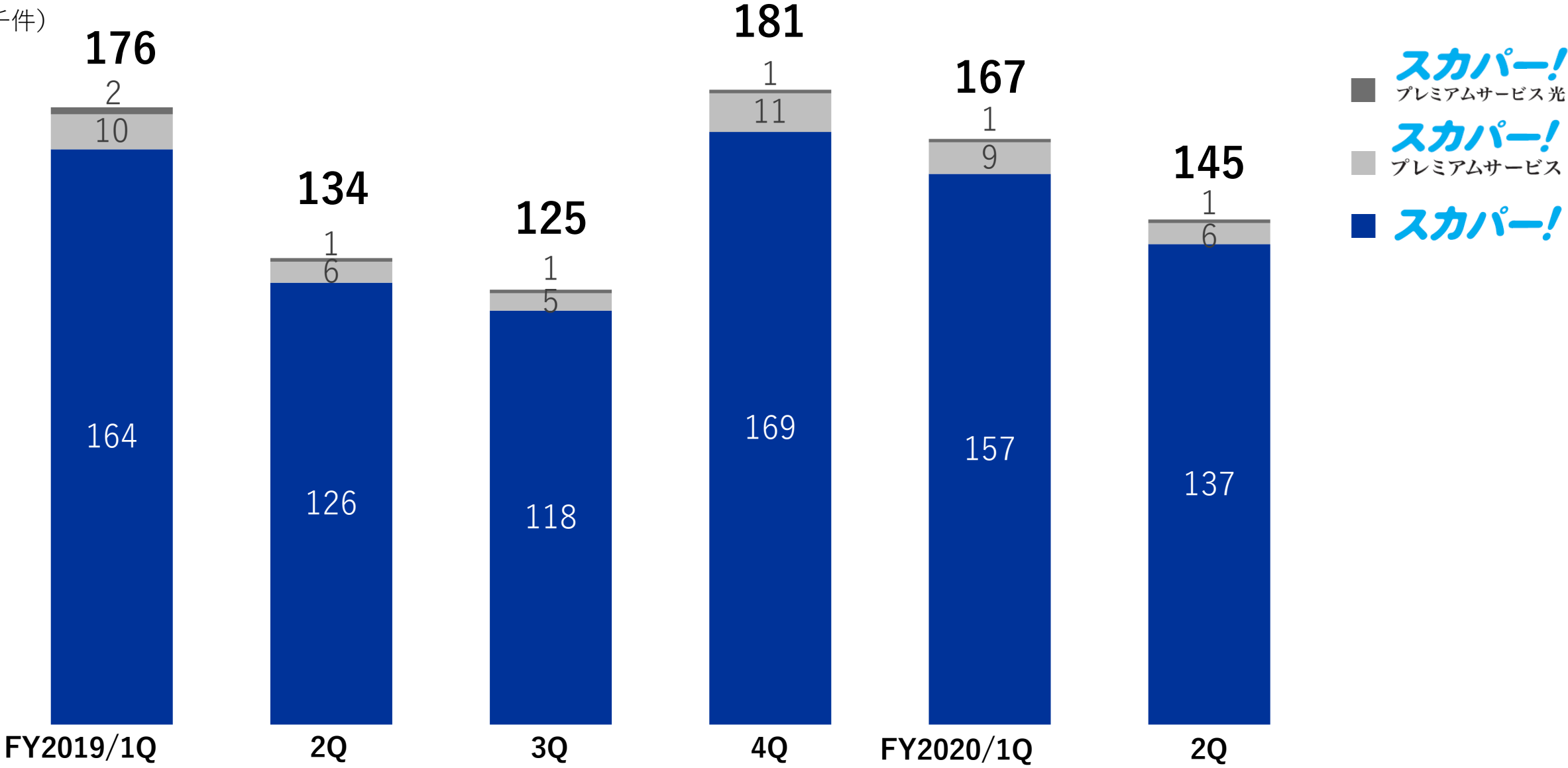
	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,176	31,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,867	△3,181
フリー・キャッシュフロー (*1)	6,308	27,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,104	△10,497
現金及び現金同等物の四半期末残高(a)	47,246	61,040
有利子負債期末残高 (*2) (b)	104,924	94,116
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	57,678	33,075

*1. 営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

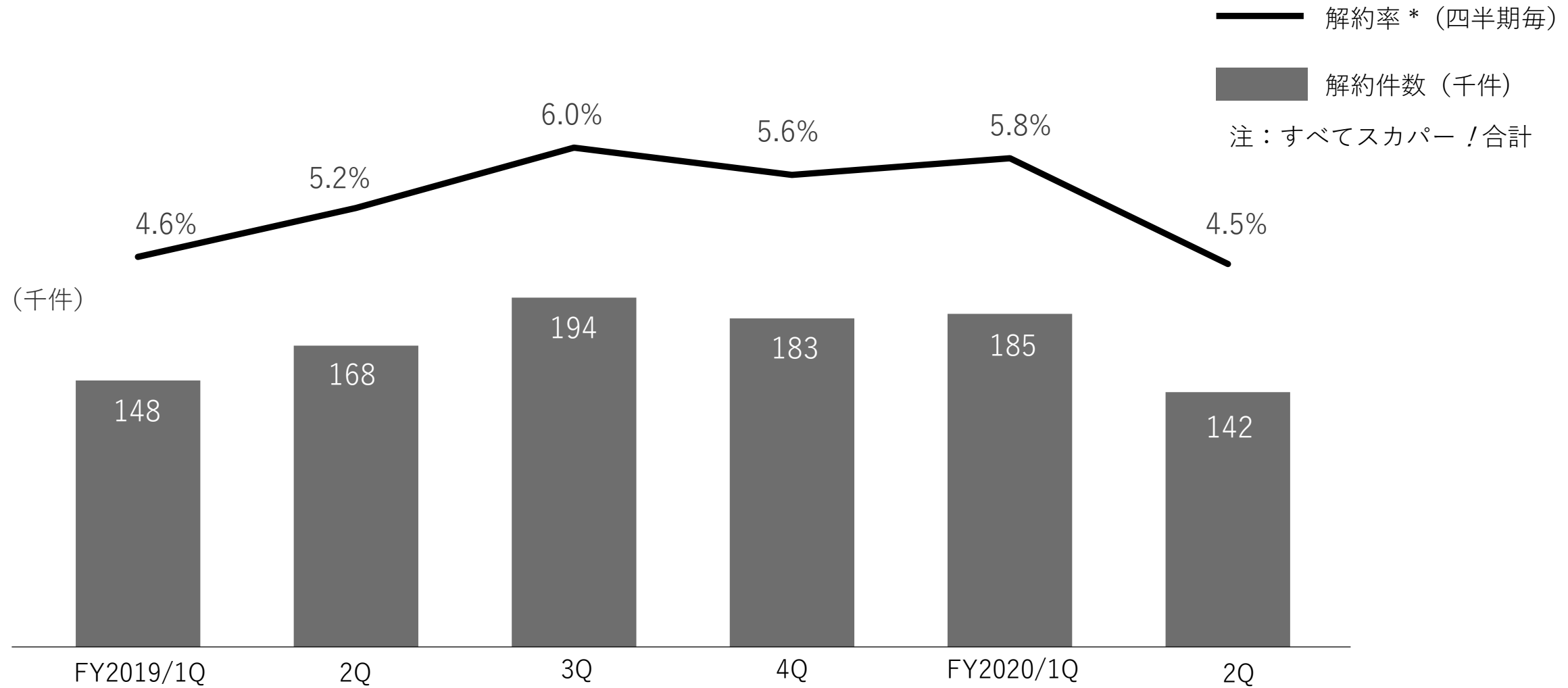
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移（IC数）*

（千件）

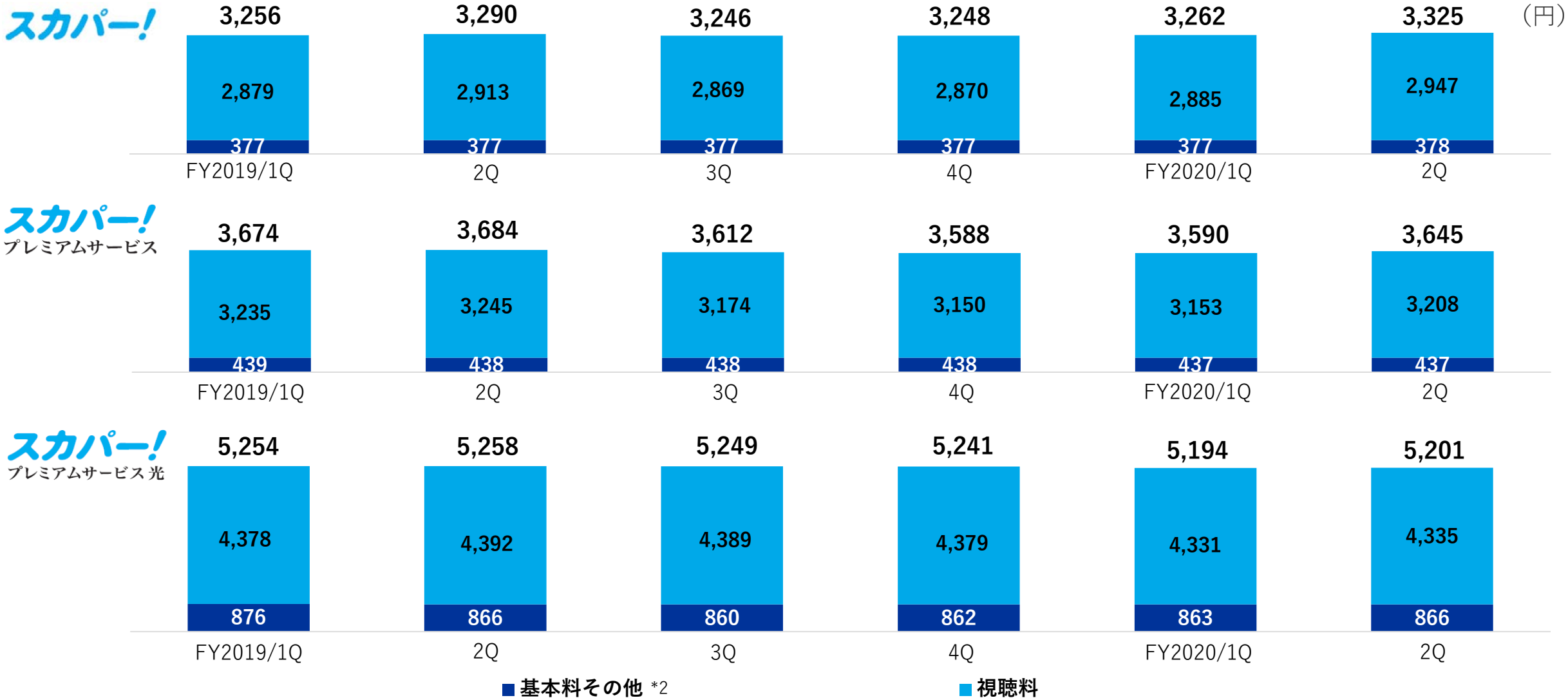


* 2019年10月末より「新規」「再加入」として別々に集計していた加入件数を合算し「新規」として集計しております。2019年度の「新規」は再集計しています。



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価 ^{*1}



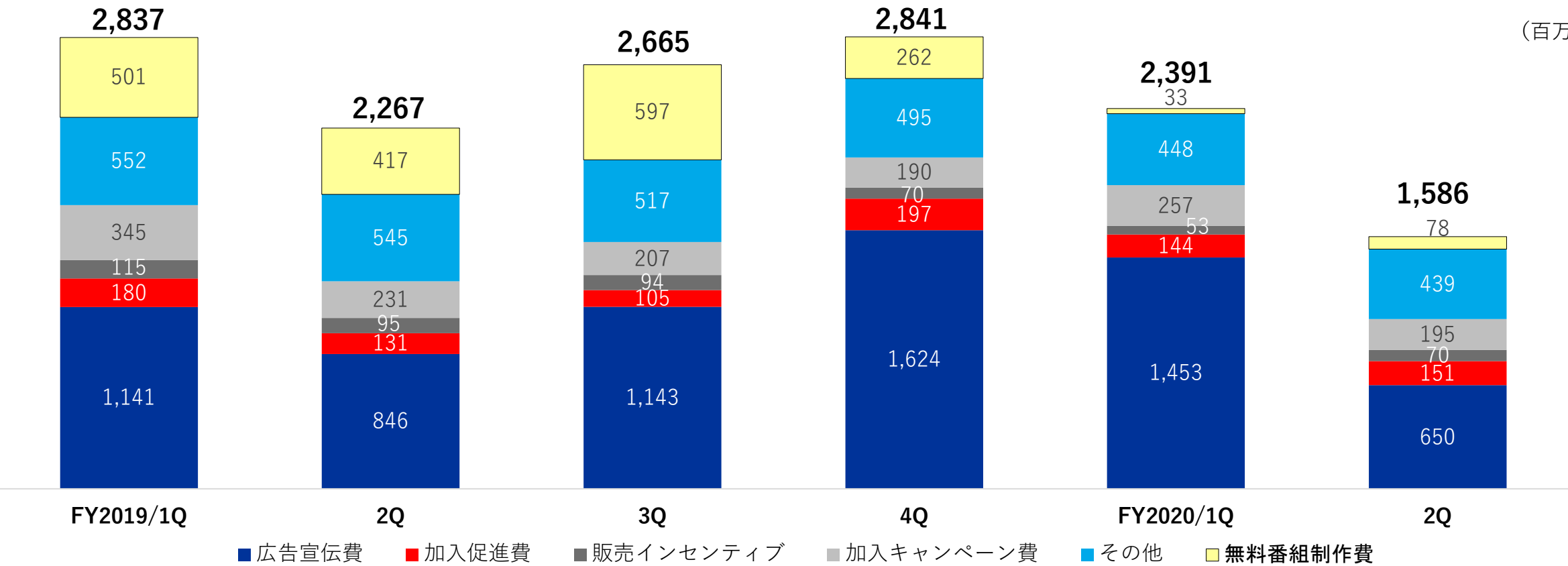
^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。従来「加入者」(IC数)単位で開示していた月額単価を「契約者」単位に変更しております(2019年度第1四半期開示資料より)。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービスでは約100%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)
- 販売インセンティブ：家電量販店や携帯キャリアへのインセンティブおよび取次手数料
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
- 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

(百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	SNET	JII	JMC	ENR
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	有料多チャンネル放送等のカスタマーセンター運営	衛星基幹放送業務、衛星一般放送業務等	コンテンツ企画・制作、技術支援及び番組供給事業等	地球観測画像データ、ネットワークサービス、システムインテグレーション	北米・ロシア・アジア太平洋での衛星回線販売事業	移動体衛星通信サービス事業	産業用ドローンの設計、製造、販売
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	92.0	100.0	53.3	100.0
営業収益	FY2019/2Q	55,849	3,299	25,817	1,910	1,857	1,284	1,278	187
	FY2020/2Q	56,819	3,000	23,282	1,108	1,777	2,032	1,422	104
営業利益	FY2019/2Q	9,094	237	284	236	172	△226	161	△281
	FY2020/2Q	11,357	149	183	22	150	251	213	△281
経常利益	FY2019/2Q	9,356	241	287	236	186	△252	153	△285
	FY2020/2Q	11,638	210	187	27	167	268	204	△289

SJC：スカパーJSAT株式会社
 SPCC：株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ
 SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント
 SPBC：株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET：株式会社衛星ネットワーク
 JII：JSAT International Inc.
 JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社
 ENR：株式会社エンルート

※WAKUWAKU JAPAN株式会社は2020年3月1日付けでスカパーJSAT株式会社に吸収合併されたため、上記子会社業績から除いております。

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部

